

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	戦没者遺族支援事業			
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係 課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	5 - 4	-
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立	総合計画書 (ページ)	113	

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	事業 16 東大和市戦没者追悼事業費
-----	---------	-----------	-------------	--------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市遺族会会員	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 遺族会会員数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 戦没者を追悼することにより、残された遺族の方々に平和の尊さを再認識してもらう。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 事業参加者/遺族会会員数
	③ そのために何をしましたか。 恒久平和を願い、戦没者追悼式及び総会を行う。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 事業数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	104	97	91	
	成果指標	②の数値	%	64.4	69.1	71.4	
	目 標	②の目標値	%				
		目標値設定の考え方	残された遺族の方々に平和の尊さを認識してもらう。				
活動指標	③の数値	回	2	2	2		

3 経費	事業費(実績)		円	794,139	787,227	708,540	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	794,139	787,227	708,540	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.15	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,240,050	1,237,950	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	2,034,189	2,025,177	2,357,340		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 戦没者慰霊事業、及び遺族の福祉向上に資するため、遺族会がある。(市民による任意の会)市は事務局として遺族会の運営に協力している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 高齢化による体力の低下等が見られ、総会や戦没者追悼式等の事業に参加する遺族が少なくなっている。

仕 事 の 内 容	戦没者遺族支援事業				
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	遺族会の運営に係る費用は会員からの会費により賄われている。また、遺族の高齢化により会員が減っており、今後の会のつたがない運営に支障が生じる可能性があることから、会員の拡大についての方法等の相談を受けている。				

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	⑧		
			【取組手法の種類】 ⑧その他（事務局としての協力）		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
会員の高齢化と減少により、会の運営が遺族会自身でできなくなってきており、今後はなんらかの形で、事務局としての協力以外に市が運営に入る必要があるいつれかの段階で生じる可能性がある。					

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	全遺族会会員に対し、遺族会の今後に対するアンケートを実施した。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
役員会でアンケート結果について議題として審議した。					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
会員数の減が見込まれることから、会の運営や継続性について注視していく。					

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	特になし				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
特になし					
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。